

「協働」する「学生」たち

昨年4月に地域と学生を繋げるプラットフォームとしての機能を持たせた地域連携拠点としてリニューアルオープンした「和歌山市地域フロンティアセンター」。まちなかに開学した2大学の学生たちが、フロンティアセンターを舞台にそれぞれの強みを生かし、地域の課題の解決に取り組んでいます。

令和初の新年号では、新しい時代を担う若い力にスポットをあてて、学生協働によるイベント「子育て支援ほほえみキャンパス」を取材しました。



①② 準備段階ではそれぞれの大学の学生がお互いの専門分野を生かしながら、イベントに向けた話し合いを重ねました。③～⑦ イベント当日は多くの親子が訪れ、巨大迷路や親子体操、親同士の交流の場など、学生たちが用意した企画を楽しみました。

東京医療保健大学 × 和歌山信愛大学 和歌山看護学部 教育学部

まちなかでできた2つの大学が、それぞれの強みを生かして協働し、子育てに関する地域の課題を解決するために、地域フロンティアセンターを舞台に新たな一步を踏み出しました。

未来への新たな一步

このイベントは研究の一環で、研究の目的は、地域の子育て支援ニーズの把握と子育て支援方法の検討。学生たちの研究はこれからも続きます。

参加した親子は「他のママさんと話せる機会があつてよかったです」、「学生にかわいがつてもらえて子供も嬉しそうだった」と、参加者にとって満足度の高いイベントとなりました。

まちなかでできた2つの大学が、それぞれの強みを生かして協働し、子育てに関する地域の課題を解決するために、地域フロンティアセンターを舞台に新たな一步を踏み出しました。

このイベントは研究の一環で、研究の目的は、地域の子育て支援ニーズの把握と子育て支援方法の検討。学生たちの研究はこれからも続きます。

今後の目標は。

私は子供に楽しんでほしいと思ってるので、もっと子供たちがずっと飽きずに楽しんでもらえることを探していました。

このイベントは研究の一環で、研究の目的は、地域の子育て支援ニーズの把握と子育て支援方法の検討。学生たちの研究はこれからも続きます。

学んだことはありますか。

保護者の方の話を聞いて、夜泣きへの対応とか、子供一人一人によつて対応が違つたりして、それがすごく勉強になりました。

初めてのイベントを終えた学生に話を聞きました。



いです。今日は、子供たちが保護者の方と離れずにいたので、これからは、保護者がいなくて、子供と私たちだけですつと楽しめるような、保護者の方が休憩できるくらい、子供が私たち学生と遊びに集中できるような空間を作つていただきたいです。

森田 今後は、いろんな団体と協力してこの取組を大きくしていきたいです。あとは、今回出来なかつたこと、例えば看護の勉強をしている学生から保護者への情報提供など、今回は難しかつたことも、今後は実施できるようにしていきます。今回は第一回だったので、これから課題点を見つけて、今後につなげていけたらと思っています。

学生たちが着目したのは子育て支援です。東京医療保健大学の強みは「母子の健康増進や心身の疾病予防」、和歌山信愛大学の強みは「子供の発達支援と日常の親子支援」。それぞれの強みを生かすことで、様々な問題に対応した子育て支援ができると考えました。

今は、地域のつながりの希薄化・核家族化による育児の孤立化や子供への虐待などが問題となっています。学生たちは、このような問題に対し、子育て中の親の育児不安などの実態や要因を明らかにし、大学を拠点とした子育て支援を検討することを目的に研究する中で、今回このイベント「ほほえみキャンパス」の企画に至りました。

学生たちが着目したのは子育て支援です。東京医療保健大学の強みは「母子の健康増進や心身の疾病予防」、和歌山信愛大学の強みは「子供の発達支援と日常の親子支援」。それぞれの強みを生かすことで、様々な問題に対応した子育て支援ができると考えました。

今は、地域のつながりの希薄化・核家族化による育児の孤立化や子供への虐待などが問題となっています。学生たちは、このような問題に対し、子育て中の親の育児不安などの実態や要因を明らかにし、大学を拠点とした子育て支援を検討することを目的に研究する中で、今回このイベント「ほほえみキャンパス」の企画に至りました。

地域の課題解決へ

「ほほえみキャンパス」開催

2018年、2019年に続けてまちなかに開学した、東京医療保健大学と和歌山信愛大学。昨年5月、その2つの大学の学生8人による学生協働プロジェクト「つぼみほほえみキャンパス」が始動しました。

「つぼみ」の学生代表で東京医療保健大学2年生の森田悠衣さんは「地域に実習に行つたとき、『地域のつながりが無く、相手がいない』という話を聞いたので、このイベントでは、そういう人たちが自助できる場を作りたいと思っています。」と話してくれました。

今年の4月にも、新しい大学や大学院が本市に開学します。まちなかに次々と若いからが生まれ、学生たちによる新しい試みがさらに続いていくことが期待されます。

今年の4月にも、新しい大学や大学院が本市に開学します。まちなかに次々と若いからが生まれ、学生たちによる新しい試みがさらに続いていくことが期待されます。